



こやまじょうあと
第3回 見山城跡(昭和36年栃木県指定史跡)

今月の文化財探訪は下古山に所在する「見山城跡」です。城^{てんしゆかく}とて考えるのは、天守閣や石垣だと思えますが、この時代の栃木県周辺の城は堀と土を盛り上げた土塁^{どるい}によってつくられていました。また、天守閣のような建物はなく、簡素な建物が建てられていただけのものがほとんどで、見山城跡もこのような城であったと考えられます。

見山城は、今から約700年前の鎌倉時代の終わり頃に宇都宮頼綱^{うつのみやよりつな}の四男多功宗朝^{たこうむねとも}の次男(又は三男)朝定^{ともさだ}が築城したと考えられます。築城された当時 下古山周辺は宇都宮氏の勢力の南端であったことから、上三川城や多功城とともに宇都宮城の南方の守りとして重要な役割を担っていました。

城跡は現在、本丸をめぐる堀と土塁がよく残されていて、四隅には櫓^ろがあったと考えられる高まりも確認できます。また、城の周辺にも部分的に堀や土塁が残されていることや、西城・中城・北城・稲荷城などの地名からかなりの広さをもつ城であったと考えられます。

見山城周辺は、宇都宮氏の勢力の南端にあたることからたびたび戦が行われました。なかでも康暦^{こうりやく}2年(1380)の裳原合戦^{もはらあいはら}や永禄元年(1558)の多功城の戦いは、激しい戦となったと伝えられます。多功城での戦では、見山城主^{こやまかねとも}と考えられる見山兼朝^{こやまかねとも}も多功城を守るために出陣し、上杉謙信の軍勢を退けましたが討死したという記録も残されています。見山城は、宇都宮氏が改易となった慶長2年(1597)まで存続したと考えられています。

見山城跡は平地に造られた城としては、たいへん良好な保存状態であることから昭和36年に栃木県指定史跡に指定されました。



今回は「東根供養塔」を探訪します。

問い合わせ先

下野市教育委員会
文化課文化財係

☎52-1120

下野薬師寺史跡まつりを 開催します。

史跡下野薬師寺跡ふるさと歴史の広場周年祭は、例年5月に開催していましたが、下野市となり、新たに「下野薬師寺史跡まつり」として開催いたします。

開催日時

11月3日(金)文化の日

午後4時30分開演

小雨決行します。荒天時は4日(土)に順延

会場

史跡下野薬師寺跡ふるさと歴史の広場
(下野薬師寺歴史館隣)

内容

横笛と和太鼓等を融合させた和の舞台演奏
横笛奏者「藤舎 也生」ほか

入場料

無料

お願い事項

駐車場に限りがありますので、できるだけ相乗りでご来場ください。なお、歴史館は午後7時まで閉館します。

共催事業

- 紙芝居「下野薬師寺跡」ほか2話を上演します。
- 午後1時30分及び午後5時の計2回
- 『キャンドルを灯そう。』
- 午後4時〜) 当日は十三夜なので秋の名月の鑑賞とキャンドルとの共演をお楽しみください。

問い合わせ先

下野市教育委員会文化課

☎(52)1120(平日)

下野薬師寺歴史館

☎(47)3121(土・日・祝日)